

件名:

EBS: 欧州環境インサイト ニュースメール 2010年11月号



EBS ニュースメール 2010 年 11 月号

「欧州環境インサイト」ニュースメール 2010 年 11 月号をお送り申し上げます。皆様のビジネスにとって、何らかのお役に立てれば幸いに存じます。

----- ヘッドライン -----

- 【太陽熱:スペイン】三井物産、スペイン南部の太陽熱発電事業に参画
- 【太陽光:チェコ】チェコ政府、太陽光発電の買い取り価格を大幅引き下げ
- 【風力:英国・スペイン】ガメサ、英国に洋上風力事業の本部設置
- 【風力:デンマーク】ベスタス、生産拠点の移転で3,000人削減
- 【CCS:英国】英政府、ガス火力にもCCS支援制度を適用
- 【低排出車両:ドイツ】BMWが4億ユーロ投資、電気自動車を量産へ
- 【低排出車両:ドイツ】オベル、電気自動車の購入予約を開始
- 【排出権:ドイツ・ロシア】エーオン、ロシアの共同実施プロジェクトで初の認定獲得
- 【政策:EU】新車の平均CO2排出量、昨年は5.1%減
- 【政策:EU】欧州委、低炭素技術の実証に45億ユーロ

--- ニュース -----

【太陽熱:スペイン】三井物産、スペイン南部の太陽熱発電事業に参画

三井物産は11月5日、スペインで太陽熱発電事業に参画すると発表した。対象は同国のゼネコンであるフォメント・デ・コンストラクシオネス・イ・コントラタス社がスペイン南部のコルドバ地方で進める発電容量50MWの事業で、実施主体企業の株式の30%を取得する。プロジェクトの総事業費は約2億6,000万ユーロで、既に着工しており、2012年末の商業運転開始を見込む。同社は既にスペインで、他社と共同で太陽光発電事業に乗り出しており、再生可能エネルギー事業を強化している。

ニュースリリース: http://www.mitsui.co.jp/release/2010/1190847_3893.html

【太陽光:チェコ】チェコ政府、太陽光発電の買い取り価格を大幅引き下げ

チェコ政府は11月9日、固定価格買い取り制度における太陽光発電電力の買い取り価格を来年から大幅に引き下げると発表した。ロイター通信によれば、来年以降グリッドに接続される容量100キロワット以上の施設の場合、買い取り価格は1MW時当たり5,500チェコ・コルナと、現在の半額以下になる。太陽光発電の急速な普及による電力小売り価格の上昇を抑える狙い。あわせて政府は、太陽光発電の売上に新たな税金をかけることを目指しており、議会下院はその法案を可決した。

ニュースリリース: <http://www.vlada.cz/cz/media-centrum/aktualne/podpora-solarnim-elektrarnam-bude-nizsi-77862/>

【風力:英国・スペイン】ガメサ、英国に洋上風力事業の本部設置

スペインの風力発電タービン大手ガメサは10月25日、洋上風力事業の本部を英国に設置すると発表した。ロンドンに事務機能を置くのに加え、いずれかの地域に研究開発センターとブレードの生産工場、さらに複数の港湾に物流・メンテナンス施設を建設する。これらに2014年までに総額1億5,000万ユーロを投資する。約1,000人の新規雇用を見込んでいる。英国沿岸では大型の洋上風力発電プロジェクトが相次いでおり、今後需要が急増すると見られる。スペインの風力発電事業大手のイベルドロラも洋上

風力部門の本部を英国に移している。

ニュースリリース：<http://www.gamesa.es/en/communication/news/gamesa-announces-plans-to-base-the-worldwide-centre-of-its-offshore-business-in-the-uk-investing-up-to-150-million-euros-through-2014.html?idCategoria=0&fechaDesde=&especifica=0&texto=&fechaHasta>

【風力：デンマーク】ベスタス、生産拠点の移転で 3,000 人削減

風力発電タービン世界最大手であるデンマークのベスタスは 10 月 26 日、生産拠点の移転に伴いデンマーク国内の工場を中心に 3,000 人を削減する方針を発表した。デンマーク内の 4 工場とスウェーデンの 1 工場の合計 5 工場を閉鎖、さらに複数の生産拠点で人員削減を実施する。削減数は社員の約 13%に相当する。市場が中国などアジアや米国へシフトするのに合わせ、コストの高い自国での生産能力を削減する狙い。

ニュースリリース：http://www.vestas.com/files//Filer/EN/Q3%202010/2010_Q3_PressConference_UK.pdf

【CCS：英国】英政府、ガス火力にも CCS 支援制度を適用

英政府のエネルギー・気候変動省は 11 月 8 日、発電所からの CO2 を回収して地中に半永久的に保管する炭素回収・貯蔵 (CCS) 技術について、実証施設建設の支援対象を従来の石炭火力発電所からガス火力発電所まで広げる方針を発表した。政府は 4 基の実証プロジェクトを資金支援する予定だが、現段階で参加を表明しているのは 1 社のみ。対象を広げることで実証プロジェクトへの参加企業を増やす狙いがあるとみられる。政府は最初の実証プロジェクトに最大 10 億ポンドを提供することを決めている。

ニュースリリース：http://www.decc.gov.uk/en/content/cms/news/PN10_117/PN10_117.aspx

【低排出車両：ドイツ】BMW が 4 億ユーロ投資、電気自動車を量産へ

独自動車大手の BMW は 11 月 5 日、約 4 億ユーロを投資し電気自動車の量産に乗り出すと発表した。ドイツ東部のライプチヒにある工場を拡張し、都市利用向けの電気自動車「メガシティ・ビークル」を生産する。2013 年から販売する見込み。工場拡張により、合わせて 800 人を新規雇用する。ライプチヒ工場では近く、同社の小型モデルをベースにした電気自動車の生産を始める予定。

ニュースリリース：http://www.bmwgroup.com/bmwgroup_prod/e/nav/index.html?http://www.bmwgroup.com/bmwgroup_prod/e/0_0_www_bmwgroup_com/home/home.html

【低排出車両：ドイツ】オペル、電気自動車の購入予約を開始

米自動車大手ゼネラル・モーターズ (GM) の子会社である独オペルは 11 月 11 日、電気自動車「アンペラ」の購入予約の受付を開始したと発表した。5 ドアの乗用車で、バッテリーに加え発電用の小型エンジンを搭載しており、バッテリー残量が少なくなると発電機が稼働して充電する仕組み。走行距離はバッテリーのみだと 80 キロだが、発電機を併用すれば最大 500 キロとなる。来年末の販売を予定している。

ニュースリリース：

http://media.opel.com/content/media/intl/en/news/news_detail_brand_opel.html/content/Pages/news/intl/en/2010/OPEL/11_11_opel_ampera_revolution

【排出権：ドイツ・ロシア】エーオン、ロシアの共同実施プロジェクトで初の認定獲得

独エネルギー大手のエーオンは 10 月 18 日、京都議定書の共同実施 (JI) 制度で、ロシア国内のプロジェクトとして初の認定を国連から獲得したと発表した。対象となったのは同社のロシア子会社がモスクワ郊外で建設していたコンバインドサイクル・ガスタービン (CCGT) 方式の発電所で、出力は 40 万キロワット。旧式の発電所を代替することで CO2 排出量を削減する。JI プロジェクトとして認定されたことで、同発電所の CO2 排出削減量は排出権として市場で取引され、京都議定書で定められた各国政府の目標や欧州排出権取引制度 (EU-ETS) における企業の目標達成に利用できる。

ニュースリリース：<http://www.eon.com/en/media/news-detail.jsp?id=9945&year=2010>

【政策：EU】新車の平均 CO2 排出量、昨年は 5.1% 減

欧州連合 (EU) 域内で昨年販売された新車 (乗用車) の平均 CO2 排出量が前年比 5.1% 減少したことが、欧州委員会の 11 月 10 日の発表で明らかになった。小型車を対象とした各国政府の買い替え支援制度で販売総数に占める小型車の比率が上昇したことや、各車両の燃費向上が背景にある。EU の新規制では、新車の平均排出量を 2015 年までに走行 1 キロ当たり 130 グラムに抑え、2012 年には排出量の少ない 65% の車両についてこの数値を達成する必要があるが、2012 年目標は既に昨年の段階で達成されたという。現在のトレンドが続けば、販売台数の多いメーカーの中には、2015 年目標を数年前倒して

達成できる企業も出てくる可能性があるとしている。

ニュースリリース：<http://europa.eu/rapid/pressReleasesAction.do?reference=IP/10/1496&format=HTML&aged=0&language=EN&guiLanguage=en>

【政策:EU】欧州委、低炭素技術の実証に 45 億ユーロ

欧州委員会は 11 月 9 日、低炭素技術の実証プロジェクトを対象とした資金支援制度の応募を開始した。「NER300」と呼ばれる新制度の支援総額は約 45 億ユーロで、この種の制度としては世界で最大規模という。最低 8 基の炭素回収・貯蔵(CCS)施設建設と再生可能エネルギー分野で合計 34 プロジェクトを対象とする。再生可能エネルギー分野の内訳は、バイオエネルギー9、風力 6、集光型太陽熱 5、地熱 4 プロジェクトなど。来年 2 月に応募が締め切られ、同年末に対象プロジェクトが決定する見込み。同制度は、欧州排出権取引制度(EU-ETS)における排出枠の売却収入の一部を財源とする。

ニュースリリース：<http://europa.eu/rapid/pressReleasesAction.do?reference=IP/10/1476&format=HTML&aged=0&language=EN&guiLanguage=en>

◆◆「EBS 産業レポート」最新版 発売中◆◆-----

◎1「欧州の先進環境 100 社——最新市場動向と注目企業の横顔」 113 頁

主な内容

- 欧州の先進環境企業 100 社の戦略と最新動向
- 欧州環境市場規模の推移
- 太陽光発電市場の 2009 年実績と今後の成長見通し
- 風力発電市場の 2009 年実績と成長見通し
- 分野別の成長予測
- 洋上風力、太陽熱、波力・潮力発電の動向

◎2「欧州自動車産業の最新動向 2010-11 年版——EU のエコカー戦略」 110 頁

主な内容

- エコカーに対する EU の開発支援戦略
- EU と主要国の自動車関連環境政策—CO2 排出規制の概要など
- 欧州のエコカー市場の現状と見通し
- 欧州の大手乗用車メーカーのエコカー戦略
- 主要乗用車メーカーの過去 1 年間の展開と今後の見通し
- メーカー別の欧州の乗用車・商用車販売統計
- ロシアの自動車販売動向
- 主要自動車メーカーの欧州・ロシアの生産施設立地

◎3「これだけは知っておきたい EU の環境規制 2010-11 年版 108 頁

主な内容

- EU2020 年戦略における環境・気候変動政策のビジョン
- エコデザイン指令～新 ErP(エネルギー関連製品)指令
- WEEE/RoHS 指令および廃車指令の概要と改正の動向
- REACH の基本と実施状況
- 2020 年とそれ以降に向けた温室効果ガス排出削減の目標と議論の動向
- 再生可能エネルギー促進指令
- 建物エネルギー性能指令
- 今後の EU 排出権取引の制度詳細 ほか

価格: PDF 版 395 ポンド/485 ユーロ/53,000 円(全税別)

(ハードコピー+PDF 版: 480 ポンド/590 ユーロ/65,000 円(全税別))

レポートの詳細に関しましてはこちら⇒ <http://www.ebsukltd.com/report/index.htm>

◆◆当ニュースメール配信サービス希望者募集中！◆◆-----

- 当配信サービスは無料です。どなたでもホームページからご登録いただけます。
 - 配信頻度は基本的に毎月ですが、都合により不定期になることをあらかじめご了承下さい。
 - 本サービスは弊社の都合により休止することがあります。
- ご登録はこちら⇒ <http://www.ebsukltd.com/newsletter/>

◇◆当サービスのご利用に当たって◆◇-----

★登録内容の変更や配信停止はお手数ですが下記からお願い致します。

<http://www.ebsukltd.com/newsletter/>

★ニュースメールに関するお問い合わせ、その他ご利用に際してのご不明点は下記へご連絡下さい。

news@ebsukltd.com

発信元◇EBS(UK)Ltd.

1 Heathcock Court, 415 Strand, London WC2R 0NT, UNITED KINGDOM

ウェブ: <http://www.ebsukltd.com/> メール: news@ebsukltd.com

Copyright(C) EBS(UK)Ltd. 2010 掲載記事の無断転載を禁じます。
